

発行 2014年10月1日
同窓会会報「緑風便」第35号

東京都立武蔵野北高等学校同窓会
180-0011 東京都武蔵野市八幡町 2-3-10

インターハイ開会式で 吹奏楽部が演奏

八月一日（金）に味の素スタジアムで開催された全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイ開会式に武蔵野北高校吹奏楽部が出演しました。

この開会式では、武蔵野北高校吹奏楽部のほか、都内数校の吹奏楽部とオーケストラ部が、宮川彬良氏、吹奏楽部顧問の毛塚先生、および各校の顧問の先生方の指揮で、国歌、特賞歌、大会テーマ曲、その夢が叶うなら、などを合同で演奏しました。また、皇太子殿下もご臨席されました。



実は、一年以上前から出演の打診・依頼があったものの当初は出演をお断りしていたそうです。それは、インターハイ開会式当日が、合宿、コンクールの間に挟まれ、三つの予定のどれかが共倒れになることが心配されたからです。しかも一か月前に行われる開会式リハールは期末試験直前でした。

それでも参加が決まったため、吹奏楽部ではインターハイの演奏曲目を一学期の期末試験前までに完成させて、七月の終業式ではお披露目演奏会まで開催し、また、演奏者の補強のため、引退する三年生に前々から出演を要請して、部の保護者説明会でも承認していただいたそうです。三年生は出演するためにはまずは勉強と、参加が決まった二年生のころから勉強を頑張っていたようです。そして部員達のお手伝いとして、吹奏楽部卒業生が数人、現地に入りました。

こうしてインターハイ開会式で演奏することになったのですが、大きな問題がありました。それは真夏の直射日光にさらされたまま早朝から夕方まで、長時間拘束・数時間に及ぶ演奏をすることです。

前日も同じ予定でのリハールがあり、二日連続の過酷なスケジュールであり、熱中症などの部員の健康面での心配はもろろんですが、日照による楽器の損傷も心配されました。そのため、高体連への各校の吹奏楽部顧問から日照対策を要請しましたが受け入れてもらえませんでした。

ここで吹奏楽部員を助けたものが同窓会から寄贈されたタオルでした。爽やかなライトブルー、ムサキタのリボンの色と統一感がありました。タオルは一人当たり大きなバスタオルとフェイスタオルの二枚が支給されました。

これらを体や楽器に巻き付け日よけ代わりにしました。前日も当日も炎天下のスタジアムで朝から夕方まで、場面によっては数十分間連続の演奏など過酷な環境でしたが、何とか二日間を乗り切りました。

インターハイ開会式が終わって部員達の感想は、運動部の世界で頑張った同世代達の全国大会、その開会式で演奏出来た事は光栄な事だった、過酷な環境下でもやり切れた、頑張れた事が一生の思い出となった、吹奏楽部に入って良かった、開会式の最後に観客席に向かって立礼、スタジアム全体から大きな拍手をいただいていた感動した、など部員達にもとても良い経験となったようです。お手伝いとして現場に立ち会った卒業生としても頑張った部員達をベタ褒めしてあげたい気持ちでした。

五期生 松村 博幸

膝の上や、楽器上に掛けられているタオル。同窓会でお手伝いさせていただきました。



いあいさつ

同窓会長 當麻 好教

武蔵野北高等学校同窓会員の皆様こんにちは。同窓会長の當麻です。

今年の夏も「酷暑」というような日が多いですが皆様いかがお過ごしでしょうか。

また、広島をはじめとして全国各地で豪雨による被害も相次いでおり、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申しあげます。

今年の八月に南関東総体（全国高等学校総合体育大会・インターハイ）が東京、神奈川、千葉、山梨の四県で開催されました。その総合開会式（八月一日・味の素スタジアム）に武蔵野北高校の吹奏楽部が出演しました。お話を伺ったときには観覧者の募集が終わっていたために見ることができなかったのがとても残念でした。

さて、最近食の安全に関する報道が続いています。鶏肉の問題であったり、牛肉の産地偽装の問題であったり、〇一五七による食中毒の発生であったりと、日常の「食事」という事に関して安心できない状況があるのはご家族をお持ちの方だけでなく誰もが非常に心配なことだと思います。日本は昔から「水と安全はタダ」という言葉があったように普段の生活をするのにはあまりいろいろなことに気を遣わなくていい社会であったのが、徐々に変わってきているのかもしれない。

「自分のことは自分が守る。」文字に書いてみると簡単なことなのですがいざ実行しようとするとなかなか難しいことに気づかされます。食の問題だけでなく生活の中でなんとなく選択している事がどれほど多いか、もつと物事の本質を理解し、その上で吟味して選ぶ必要があることが沢山有るように感じるようになりました。

まだまだ暑い日が続きます。熱中症等に気をつけてお過ごし下さい。

また、今後とも同窓会の活動にご協力をお願いいたします。

いあいさつ

校長 梅原 哲



夏休みだというのに、学校では、多くの生徒が登校して、補講・補習に出席したり、部活動に取り組んだりする姿が見られます。

この休みが明ければすぐに緑光祭。その準備・練習にも汗を流しています。青春のページを紡いでいる・・・すがすがしい生徒たちの様子からそんな思いを抱きます。

そんな生徒たちの昨年からの夏までの様子を紹介します。

昨年度のことですが、東京都教育委員会はピリオオバトルという書評合戦を主催しています。この催しには全都立高校が参加しますが、本校からも代表が出席し、予選で涙をのんだものの、会場からは高い評価をいただきました。また、科学の甲子園東京都予選に、理科部が初めて出場しました。実技と理科の各科目や数学のペーパーテストの成績で順位を競いますが、都立高校で第二位、総合で第六位に輝きました。

本年度では、陸上競技部の二年生が八〇〇メートルで

関東大会に出場しました。惜しくもインターハイへの切符は手に入れ損ねましたが、来年への期待が大きく膨らみました。

野球部は西東京予選で三回戦に進出しました。三回戦では都立昭和高校に敗れましたが、創部以来の夏の大会での好成績を上げました。

平成二六年八月一日、南関東総体二〇一四の総合開会式が味の素スタジアムで開催されました。式典の選手入場行進の楽曲演奏の担当として、本校の吹奏楽部が、都立青山高校、私立玉川高校とともに選出され、すばらしい演奏を披露してくれました。

この三月に卒業した第三三期生の大学合格実績は創立以来とも言えるほど素晴らしいものがありました。進学指導推進校としての指定によく応える成果であると思いますが、学習だけでなく、生徒たちが取り組む様々な体験が一人一人を大きく成長させた結果であると確信しています。紹介しきれませんが、部活動や地域で活動など生徒たちが懸命に取り組んでいる活動はまだまだまだたくさんあります。

同窓会の皆様がそんな生徒たちに温かい支援の手を差し伸べてくださっていることは何よりも生徒の励みでございませう。心から感謝申し上げます。

おかげさまで、平成二六年度生の入学者選抜におきましても都民の皆様の本校への高い期待がございました。これも本校同窓の皆様がこれまで築いてこられた伝統と在校生諸君の努力の賜物でございます。今後とも、本校が小・中学生のあこがれであり続け、都民の期待に応え続けることができるよう、教職員一同努めてまいりますので、同窓の皆様にはより一層のご理解・ご支援を賜りますようお願いして挨拶いたします。

ムサキタの今

右ページで梅原校長先生が「創立以来とも言えるほど素晴らしい」とおっしゃった大学合格実績を学校が作成している資料をご紹介します。

私立大が表に「小計」が三つあります。これは右下のグラフにある「早慶上+」と「GMARCH」とを分けているからです。

この分け方も時代を反映していると言えるでしょう。実は興味があったという方も多いのではないのでしょうか。ムサキタを子供の進学先にお考えの方もきっと多くいることでしょう。

是非、ご参考にしてください。

本校はほとんどの生徒が四年制大学への進学を希望し、部活動や行事に真剣に取り組みながら希望の進路を実現させています。

未来の君はどこにいたろう

Dream comes true

本校の進路実績

過去3年間の合格状(本校は各学年6クラスの比較的小規模な学校です)

	2012			2013			2014		
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
大学名									
北海道大									
小樽商科大	1		1						
茨城大				1		1			
千葉大				1	1	2	3		3
埼玉大	1	2	3	1		1	2		2
電気通信大	1		1				1	1	2
東京外語大				2		2	2		2
東京海洋大	1		1	1	1	2	1		1
東京学芸大	2	1	3	3	2	5	3	1	4
東京工業大				2		2		1	1
東京農工大	5	2	7	2	1	3	5		5
一橋大		1	1						
信州大				1	1	1	1		1
山梨大	1		1						
名古屋大							1		1
鹿児島大							1		1
佐賀大	1		1						
秋田県立大				1	1	1			
首都大学東京	3		3	3	3	4	1		5
横浜市立大				1		1			
埼玉県立大									
山梨県立大				1		1			
長岡科学技術大	1		1						
会津大	1		1						
沖縄県立芸術大	1		1						
国公立計	19	6	25	18	7	25	24	4	28

	2012			2013			2014		
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
大学名									
文教大	4		4	2		2	4		8
亜細亜大	13		13	11		11	6	1	7
大妻女子大	3		3	8	1	9	6		6
学習院女子大	2		2				4		4
北里大	5	1	6	9		9	4		4
共立女子大	1		1	1		1	4		4
国学院大	6	2	8	3	1	4	11		11
駒沢大	18	4	22	15	2	17	36	1	37
芝浦工業大	14	4	18	18	2	20	20	4	24
昭和女子大	2		2	12		12	21		21
女子栄養大				4		4	3		3
成蹊大	17		17	18	3	21	35	3	38
成城大	2	1	3	8	2	10	5		5
専修大	16	1	17	22		22	25	2	27
玉川大	3		3	6		6	4		4
津田塾大	2		2	1		1	5		5
東海大	3		3	10		10	3	1	4
東京家政大	6		6	16		16	2		2
東京経済大	9		9	11		11	29	2	31
東京女子大	3	1	4	4	2	6	13		13
東京都市大	3		3	12		12	7		7
東京電機大	9	1	10	9	2	11	12		12
東京農業大	14		14	12		12	4	7	11
東洋大	34	4	38	56	4	60	76	2	78
日本大	46	6	52	35	10	45	34	8	42
日本女子大	4		4	15		15	9	1	10
武蔵野大	8		8	16		16	19	2	21
武蔵大	8	6	14	20		20	36	1	37
明治学院大	4	1	5	12	1	13	33	2	35
明治薬科大	4	1	5	2		2			
その他	118	8	126	123	16	139	128	5	133
小計	381	41	422	491	48	539	602	42	644
合計	560	76	636	667	66	733	901	85	986

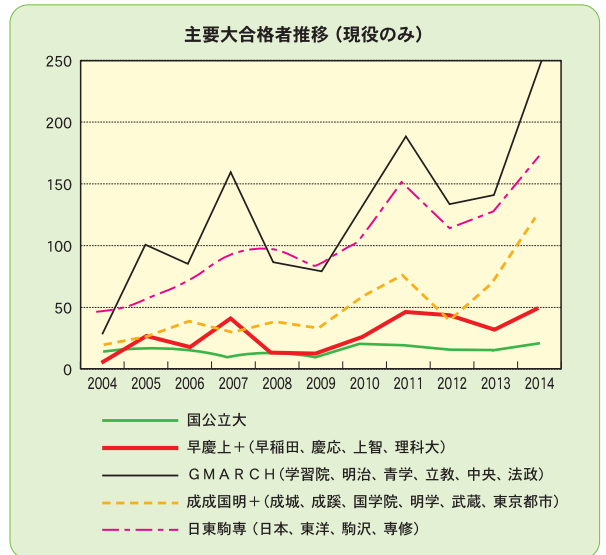
早稲田大	20	4	24	16	1	17	30	6	36
慶応大	2	1	3	3	1	4	4	3	7
上智大	13	1	14	12	1	13	7	2	9
東京理科大	11	5	16	4	2	6	9	6	15
小計	46	11	57	35	5	40	50	17	67
学習院大	7		7	6	1	7	8	1	9
明治大	21	5	26	37	6	43	47	10	57
青山学院大	13	3	16	15		15	22	5	27
立教大	24		24	22	2	24	59	3	62
中央大	26	9	35	29	3	32	39	3	42
法政大	42	7	49	32	1	33	74	4	78
小計	133	24	157	141	13	154	249	26	275

防衛大学校				1		1			
国立看護大学校				2		2			
青山学院女子短大	1		1				1		1
その他	1		1	7		7	4		4
小計	2		2	10		10	5		5

医療看護系	2		2				4		4
その他	6		6	3		3	1		1
小計	8		8	3		3	5		5

3年間の進路指導計画

	1 学年		2 学年		3 学年	
	4月	進路志望調査 実力テスト		進路志望調査		進路志望調査 進路学年合同HR 実力テスト
5月	医療看護系ガイダンス		医療看護系ガイダンス		早稲田大学説明会 進路に関する個人面談 国公立受験説明会 進路ガイダンス 医療看護系ガイダンス 夏期講習日程提示	
6月	進路に関する個人面談 学習状況調査 「卒業生進路概況」・ 「進路の手引き」配布説明会		進路に関する個人面談 学習状況調査 「卒業生進路概況」配布		夏期講習日程提示 実力テスト 就職ガイダンス センター試験説明会 首都大農工大学芸大説明会 推薦説明会 「卒業生進路概況」配布	
7月	実力テスト 夏期講習日程提示 キャリアガイダンス		実力テスト 進路ガイダンス 大学模範授業 夏期講習日程提示		夏の学習ガイダンス 推薦講習会 センター試験説明会 センター試験希望調査 「短大・専修・農工・学芸大」入試説明会	
8月	夏期講習 オープンキャンパス参加		夏期講習 オープンキャンパス参加		実力テスト 夏期講習 実力テスト	
9月	(進路説明会)		O・B・O懇談会		指定校推薦募集一覧開示 センター試験出願説明会 第2回国公立説明会	
10月			3学年選択科目説明会		大学等推薦入学校内選考開始 模範授業開始(～11月) センター試験出願校内締切 〈専門学校推薦入試試験〉 実力テスト 〈短大・大学等推薦入試試験〉(～12月)	
11月	学習状況調査 進路講話 実力テスト		学部学科説明会 学習状況調査 実力テスト 3学年選択科目決定		実力テスト 学習状況調査 進路に関する個人面談 センター試験プレテスト	
12月	キャンパスツアー (センター同日模試)		(推薦合格者説明会) 私大出願指導検討会			
1月			3年0学期始業式 センター同日模試 センター試験説明会		(センターマラソン) センター試験 国公立大学2次試験出願指導 〈短大・大学等一般入試試験〉	
2月	実力テスト センター試験説明会 学習状況調査		卒業認定会議 学習状況調査		〈国公立大学前期試験〉	
3月	成蹊大学訪問		合格者速報会 第一志望校届出 進路室ガイダンス		〈国公立大学後期試験〉 合格者速報会	



クラス会等支援制度 あなたも発起人に!!!!

同窓会の活動の中心に育ってきたこのクラス会等支援制度、昨年度の利用は三件で、五四名の方々の同期会、クラス会のお手伝いをさせていただきました。今年度は同期会一件の準備が進行しています。

認知度が上がってきた、このクラス会等支援制度は、開催費用の補助はもちろん、発起人の苦勞を減らすべく、開催通知の発送代行・郵送費負担も盛り込んでいます。ぜひ活用してください。

また、この支援制度では卒業生と同窓会の直接の繋がりでだけでなく、友人、先輩後輩の繋がりを生かして同窓会の連絡先不明者を減らすという意義を持っています。利用される際には、是非連絡先調査へのご協力もよろしくお願ひします。

二九期生二組クラス会

社会へ旅立つ前に懐かしい顔触れと再会したい、クラス会発起のきっかけはそんな声でした。十人も集まれば上出来、と気軽な気持ちで皆へ参加の可否を問えば、予想を超えた人数から参加の意思が帰ってくるのではないかと。ならば相応の準備をしなければ、そう考えて同窓会への支援をお願いしました。

当日、吉祥寺に集まる級友達。相変わらずだな、互いにそう言い合いながら再会を喜びました。今は何をやっているんだ、どこに就職するんだ、バイトはしているのか、と今を語り合いました。昔は馬鹿なことをしていたな、いや、今も大差ないだろう、と懐かしみ、笑い合いました。

中には、今日に初めて会話しらしい会話をした、と言う人達もいました。卒業から三年半を経て同窓の仲間との友好を新たに築く、その様子を見ていて嬉しく思いました。また、外見はさして変わらずとも、話せば皆の成長が見えてきます。周りが立派に成長しているなら自分も負けられない。そんな風に自分へ活を入れる良い機会にもなりました。



あつという間に終了時刻を迎えて二次会への参加者を募る。すると、ほとんど皆がそのまま参加。再会の場を心から楽しんでもらった様で、幹事の冥利に尽きました。此度会えなかった級友も含めて、是非ともまた会いたい。そんな声の下に再びクラス会が開催される日もそう遠くないのだからと感しました。

二九期 吉祥 玄

二九期生二組クラス会

ムサキタを卒業して四年が経ち、四月から新しい生活を迎える人が多いこの時期に、二九期三年六組の同窓会を行いました。

当日は偶然ムサキタの卒業式と重なりましたが、元六組担任の野村先生は、忙しいながらも時間を作っていらしてくださいました。かつて文化祭で作った新撰組の旗を持って先生が登場された時には皆大盛り上がりで、当時の記憶が一気に蘇りました。

四月以降それぞれ進む道は違いますが、前と変わらず笑いあえることが何よりも嬉しく、貴重な時間を過ごすことができました。



二二期生五組

小林美和子学級クラス会

二二期生として、入学した私達も、早いもので三〇歳になる節目の年となりました。十五歳で高校に入学したので、付き合いも人生の半分に及ぶこととなります。

旧三年五組は、文化祭の準備の時期から、皆で遊ぶことが多くなり、卒業後も皆で旅行をしたりしていましたが、二〇歳を過ぎると、各々のグループでの交流になりクラスでの集まりはなくなっていました。

今回、学校での同窓会の支援制度があることを知り、制度を利用させていただき、十年ぶりの再会を果たすことができました。

三〇歳になり、結婚している人も増え、恋人や就職の事を話していた二〇歳の頃と違い、家族や子供の話が増えた事が印象的でした。

今回は、人数も十五人と少数で、担任の先生の出席も叶いませんでしたが、これを機会に今後も定期的に会う事ができると思います。

きっかけを与えてもらった、同窓会の皆さんに感謝しています。



同窓会を行った場所での写真。ただの飲み会の写真みたいですが。



別で集まっていた旧一二期級のみならず、吉祥寺サンロードでばったりあったので、記念に一枚。

クラス会等支援制度って？

同窓会のクラス会等支援制度では、

- 一、開催のための連絡支援
- 二、開催当日の会費への補助をお手伝いしています。

予定の三か月から半年前に連絡を

だいたいの計画が決まったら同窓会に連絡をください。同窓会でお手伝いをして、往復ハガキを出します。「このくらいの時期にこの辺りでやろうと思うけど、参加できる？ 予算はどれくらいがいい？ 具体的な日程は？」などを確認する返信ハガキが集まってきたら、返信内容を見て参加人数や会場、予算、日程を決定し、二回目の往復ハガキで決定内容を告知して出欠を取ります。一度目の往復ハガキでメールアドレスを教えたら、往復ハガキでメールアドレスを教えるまで何かと役立つでしょう。

会費の補助は一人当たり最大二千元

当日の会費の補助は、当日参加者から集めた会費の合計額と支払った額の差を、参加者一人当たり最大二千元補助するというものです。

これにあたっての条件がいくつかあります。

会費補助の計算例)

開催準備や先生への記念品6500円、当日の飲食費89100円かかった。

当日の参加者は20名で、一人2800円を集めた。

この場合、

$$(6500 + 89100 = 95600) \div 20 - 2800 = 1980$$

となり、一人当たり1980円、20人分で39600円が後日振り込まれます。

クラス会等支援制度を利用する発起人が準備、了解しておくこと

一、対象者の住所データ

まず、準備段階では、往復ハガキの宛先住所は同窓会から皆さんに出すことできません。印刷、発送作業は、同窓会で行います。

ですから、すでに同窓会の名簿などで住所が把握されていないであろう方の住所をご存知でしたら、事前にお知らせください。同窓会でもっている連絡先住所と合わせて、発送いたします。

二、返信ハガキが投函される

往復ハガキは発起人が差出人となって出すのですが、往復ハガキの返信も、差出人となった方のところへ戻ってきます。

同期会であれば、ポストに二〇〇通ほどのハガキが届くかもしれません。家族に一言断っておいたほうがいいかもしれません。また、往復ハガキが宛先不明で戻ってきたとか、戻ってきたハガキに住所変更の情報があるとか、そういった情報は後日、同窓会にご報告ください。

三、連絡先調査への協力

会の当日、転居などで連絡先情報に変化がないか、参加者に声を掛けてください。

四、参加者の集合写真

当日は参加者全員で右ページにあるような集合写真を撮ってください。

五、領収証の写し

支払った領収証やレシートも撮影し、画像を送ってください。

六、開催報告文

参加者の中から誰でも結構ですので、二百〜四百字程度の報告文を書いてもらい、後日提出してください。報告文は右のページにあるように、緑風便などに掲載されることがあります。

七、振込先

助成金は提出された資料を確認した後に振り込まれます。同期会ともなると金額も大きくなりますが、振込完了まで時間がかかることがありますので、しばらく立て替えておく準備をお願いいたします。

八、連絡先情報

同窓会ではこの制度を通して、会員の連絡先調査も実施しています。

受取人転居などで戻ってきてしまった往復ハガキ、返信ハガキに書かれた連絡先、当日に集まった転居情報など、連絡先情報をご報告ください。

昨年までこのページに掲載されていた『クラス会等への支援の流れ』PDFは同窓会ホームページに掲載されています。ご参考にしてください。また、質問があればメールでもお答えします。

余談 プライバシー保護

クラス会などのために連絡を取るためには、住所や電話番号、メールアドレスなどが必要です。同窓会では自宅の住所と電話番号を連絡先としていますが、ハガキの投函は同窓会で行うので一人ひとりの住所を公開することはありません。ただし、転居先不明で戻ってくるハガキはクラス会発起人の元へ戻ってきますので、完全なわけではありません。

陸上競技部より

五月に開催された東京都高等学校陸上競技対校選手権大会（インターハイ東京都代表選手予選会）に於いて入賞し、関東大会出場権を見事獲得した二年三組角銅君に同窓会からお祝いを出しました。

角銅 啓多 男子八〇〇m 一分五四秒五六 第六位
*インターハイ関東大会初出場。

これに対し、顧問の先生より関東大会の報告とお礼のお手紙をいただきました。

六月二〇日（金）～二三日（月）に開催された関東高等学校陸上競技大会（インターハイ南・北関東地区代表選手選考会）へ二年三組角銅啓多くんが出場してきました。

都大会後の練習も順調に行い、現地入りしてからの調整練習も問題なく実施し、二二日（日）の南関東男子八〇〇m予選に臨みました。

予選の結果、組で四着、タイムは一分五七秒一〇と都大会で出した自己記録を更新することはできず予選敗退となりました。同じ組に今年度高校ランキングトップの千葉県の選手を始め、今年度の高校ランキング上位者が多数出場したハイレベルな大会を経験できたことは今後の大きな糧となりました。

五年ぶりの全国大会出場はなりませんでしたが、角銅君は新たな目標に向けてスタートを切りました。応援サポートした生徒たちは武蔵野北のユニフォームを着た仲間が関東の舞台で勝負している競技を観て、次は自分達かと決意をし、帰ってきました。

この経験を部員全員で共有し、今後の学校生活、練習に活かしていきたいと思えます。

また、現役の生徒達を直接知らない二八期の陸上競技部卒業生が応援に駆けつけて下さりました。武蔵野北の繋がりを感し、大変うれしかったです。

ご支援、応援、本当にありがとうございました。

顧問 安藤秀紀 石田健司 陸上競技部員一同

今年の教育実習生

六月に母校で教育実習を行われた方々です。お疲れ様でした。

科目	氏名	期
国語	和田 薫平	30
数学	竹田 凌	30
数学	数奥 哲史	30
生物	阿部 遥	30
化学	小原 遼大	30
化学	小山 輝久	他校
生物	上野 通宗	30
美術	坂本 由佳理	他校
英語	菊地 佳奈	30

来年度の教育実習の申し込みはすでに締め切られました。毎年、六月ごろに締め切られますので、申し込み予定の方はお早めに。

先生方の異動

退職

森田 和実（数学） 退職
小山 輝久（理科） 退職

転出

泉 拓郎（地歴） 八丈高校へ
野村 元洋（数学） 八王子東高校へ
水上 敦哉（外国語・英語） 清瀬高校へ
大野 寛（経営企画室） 村山特別支援学校へ

転入

日原 高志（地歴） 国立高校より
金井 教尚（数学） 農業高校より
村川 裕一（外国語・英語） 成瀬高校より
加藤 晴紀（数学） 国立高校より
柿原 亨（理科・化学） 豊多摩高校より
中島 聖来（理科） 新規採用
池田 みつ美（経営企画室）

小金井特別支援学校より

2014年度議事総会の報告

2014年7月5日(土) 母校会議室において、議事総会が開催されました。

1. 議事総会 議事

- (1) 2013年度 決算報告
- (2) 監査報告
- (3) 2013年度 活動報告
- (4) 2014年度 役員案
- (5) 2014年度 予算案
- (6) 2014年度 活動計画

2. 議事内容

(1) 2013年度 決算報告

収入の部

項目	金額
2012年度より繰越	497,586
新会員会費 (241名)	1,928,000
10年超会員会費	220,000
会費前受金より繰入れ	2,324,800
雑収入・利息	51
合計	4,970,437

支出の部

項目	金額
総会費	372,673
会報作成費	1,021,881
名簿作成費	185,327
幹事会運営費	8,800
同窓会活動費	92,554
クラス会等援助費	285,053
雑費	5,540
支出合計	1,971,828
積立金へ繰入(会費前受金)	2,148,000
2014年度へ繰越	850,609
合計	4,970,437

(2) 監査報告

2013年度決算報告について、支出が適正であったことを承認。

(3) 2013年度 活動報告

- ・通常活動
- ・クラス会等支援事業
- ・合唱祭支援

(4) 2014年度 役員案

- 会長 當麻 好教 (3期)
- 副会長 中西 義隆 (2期)
- 木崎 哲史 (4期)
- 会計監査 松崎 祥久 (7期)
- 書記 飯沼 容子 (4期)
- 安藤 美由紀 (14期)
- 会計 市川 悠一 (16期)
- 新津 望美 (18期)

提案のとおり承認された。

(5) 2014年度 予算案

収入の部

項目	金額
2013年度より繰越	850,609
新会員会費	1,920,000
10年超会員会費	200,000
会費前受金より繰入れ	2,316,800
雑収入・利息	50
合計	5,287,459

支出の部

項目	金額
総会費	380,000
会報作成費	1,000,000
名簿作成費	1,100,000
幹事会運営費	10,000
同窓会活動費	370,000
クラス会等援助費	200,000
雑費	10,000
周年行事積立金	50,000
予備費	47,000
支出合計	3,167,000
会費前受金	2,120,000
合計	5,287,000

積立金残高 (2014/3/31 現在)

項目	金額
会費前受金	11,741,600
周年行事等への積立金	300,000
合計	12,041,600

原案の通り承認された。

(6) 2014年度 活動計画

- ・通常活動
- ・クラス会等支援事業の推進
- ・陸上競技部支援
- ・幹事会活動の活性化

クラス会等支援事業の推進

4ページでご報告したのとおり、昨年度も多くの方の、再会のお手伝いができました。

今年度は同期会1件が予定されています。着実に制度の認知度も上がってきました。

一方で、利用が進むと同窓会会計への影響も大きくなります。議事総会では、記念総会との関係や制度の持続性などについて意見が出ました。来年度へ向けて議論を進めていきたいと思えます。

クラス会を計画中のみなさん、頑張ってください。

その他の活動

今年の議事総会では、5年毎の記念総会や、10年毎にある母校の周年行事を考慮した議論がなされました。単年度の決算、予算だけでは決められない部分ですが、このような議論を丁寧に進めることで、安定した同窓会運営ができると考えています。

昨年度同様、会則の見直しは進んでいませんが、卒業時に欠落した会員情報を埋めるための活動など、新たに緊急度があると思われるテーマに取り組み始めました。

今後も、幹事として一緒に活動してくれる方には手を挙げていただきたいですし、会員のみなさんの声も是非お寄せください。よろしくお願いいたします。

